

一三九〇番

近江あふみの海うみ 波なみ恐かしこみと 風かぜ守まもり 年としはや経へなむ
漕こぐとはなしに

一三九一番

朝あさなぎに 来きよ寄よる白しら波なみ 見みまく欲ほり 我われはすれど
も 風かぜにこそ寄よせね

一三九二番

紫むらさきの 名なたか高かの浦うらの 砂まなごつち地ち 袖そでのみ触ふれて 寝ねず
かなりけむ

一三九三番

豊とよくに国くにの 企きく救くの浜はま辺への 砂まなごつち地ち 真まなほ直ちかにしあらば
何なにか嘆なげかむ